

2024年 高知県労福協会長 新年あいさつ

新年おめでとうございます。皆さま方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から労福協の運動に対するあたたかいご支援をいただいていることに心から厚く御礼を申し上げます。

さて、賃上げを上回る物価の高騰、格差拡大と貧困の深刻化、高齢化と人口の減少、あらゆる職場での人手不足等々、働く者・生活する者を取り巻く環境は厳しさを増すばかりであり、このような時だからこそ、「支え合い・助け合い」の精神をこれまで以上に大切にしなければなりません。

労福協がめざす「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で安心して暮らせる持続可能な社会」が今こそ求められており、引き続き労働団体・福祉事業団体をはじめ会員組織との連携を図りながら、その実現に向けた取り組みに力を尽くしてまいります。

2024年におきましても、高知県労福協の取り組みへの絶大なるご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年にあたっての挨拶といたします。



一般社団法人高知県労働者福祉協議会
会長 池澤 研吉



高知県労働者福祉協議会役員



会長
池澤 研吉
連合高知



副会長
井上 浩司
四国労働金庫



副会長
石川 俊二
こくみん共済coop (全労済) 高知推進本部



理事
市川 稔道
連合高知



理事
西澤 和修
(公財)高知勤労者福祉サービスセンター



理事
國 弘 昭
高知県退職者連合



理事
飛田 洋一
UAゼンセン高知県支部



理事
新土居 正志
NPO法人高知県労働安全衛生センター



理事
橋川 慶一
高知県生活協同組合連合会



理事
松岡 和男
(一社)高知県労働者福祉協議会理事会



監事
谷 英樹
高知県平和運動センター



監事
山本 弘三
(一社)年金福祉広域協会高知支部

こうち食支援ネット 新年あいさつ



明けましておめでとうございます。

日頃より労福協の構成組織の皆様には、「こうち食支援ネット」の諸活動に格段のご支援・ご協力をいただき、支えていただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

私たち「こうち食支援ネット」は、多くの方々のお力添えをいただきながら、高知県における食支援の輪の拡大と充実をめざし、「食材を集める」「食材を活用する」「食支援に携わる方々とつながる」ことを三本柱とした取り組みを進めてきています。

おかげ様で、順調に活動を行うことができ、食支援の輪が広がりつつあるという一定の手ごたえも感じているところです。

ご寄付をいただいた食材は、2021年度 15.2t、22年度 18.7t、本年度は11月末現在で約14tと着実に増加しておりますし、フードサポートメンバーとして登録いただいている様々な支援活動を行っている団体は2023年度11月段階で59にのぼっており、月1回の食材提供や年末の食材提供も定着してきています。また、提供側の企業・団体、提供を受け様々な支援活動に取り組む団体、社協や行政など多様な方々が討議を行う交流イベントの開催などを通じて、食支援にかかわる方々相互の連携の強化を図ってきたところです。

一方で、まだまだ取り組みは不十分であることを実感していますし、多くの課題も明らかになってきています。

新しい年も、これまで以上に食支援にかかわる方々とのつながりを強めながら、さらなる食材提供者の掘り起こしなど多くの食材を安定的に確保することと、フードサポートメンバーのニーズに応えることのできる食材提供のあり方を模索しその具体化をはかることを両輪とした取り組みを進めていきたいと考えています。加えて、まだまだ高知市など県内中央部エリアの活動にとどまっている状況から脱却していくことや、全国的な食支援団体などから大量の食材提供の話を受けても対応できない現状を克服していくことなど課題は山積しています。多くの方々の力と知恵をお借りしながら、大規模保管場所、地域拠点の確保とそれぞれをつなぐ運搬体制の確立などの新たな課題についても挑戦していきたいと決意しているところです。

今後とも労福協の皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。本年もよろしくお祈りいたします。



こうち食支援ネット
理事長 折田 晃 一



こうち食支援ネットからのお知らせ 『さがっこ』と意見交換&視察 in 佐賀県



2023年11月15・16日に佐賀県の（一社）さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会（さがっこ）と意見交換および倉庫内等の視察をさせていただきました。さがっこの事務所兼倉庫は、佐賀女子短期大学内の2号棟1階の一部を間借りしており、大学の会議室をお借りして意見交換会を行いました。お互いの事業内容を報告し合うなか、さがっこの事業について、深く興味を持ちました。

一つは、佐賀県が「こどもの居場所」づくりを後押しし、子どもたちのために活動されている団体等の想いを尊重し子どもの成長を支えていくことを表明するとともに地域での居場所づくりの拡大と支援の体制が手厚いことです。また、子どもの居場所づくりのネットワーク形成や拡大に関する県の委託事業が多数継続されるなど活動の骨格と連携を知る事ができました。さらに、横のつながりである支援活動を行う他団体同士の連携が強く、まさしく多様性を持った支援活動だと感じました。



もう一つは、佐賀市の訪問では、佐賀県の関係部署担当者にも同席させていただきました。行政側は、当初子どもの貧困対策から、現在は経済的な事情は無くても家庭等の居場所がない状況への対応に着手していること。また、子育ての面で地域のネットワークについて、長く取り組みを継続していく為に県・市町村まちづくり協議会等との連携を強化していくことや多くの子どもの居場所において、多世代の参加がされている現状等、大変参考となりました。

こうち食支援ネットでは、他県の取り組み内容を参考に、県下に食支援の輪を広げる活動を行ってまいります。

西部労福協第41回研究集会を開催

「支え合い・助け合いで持続可能な地域共生社会を！」

～格差・貧困・排除のない多様性が尊重される社会をめざして～



2023年11月9日(木)
～10日(金) 徳島県徳島市「徳島グランヴィリオホテル」と鳴門市「賀川豊彦記念館」で、中四国9県の地方労福協、事業団体、労働団体74名の参加で開催、高知県労福協より6名が参加しました。

講演Ⅰ「防災意識と災害ボランティア活動の重要性について」【NPO法人 災害救援ボランティアVネット おかやま 有元 純一 理事長】

災害救援ボランティア活動の経験から、大規模災害などが発生して「非常事態」に陥った場合、一日も早い復旧と復興が求められており、行政・自治体が関わりにくい個人所有の案件の復旧作業には、災害救済ボランティア活動が欠かせず、お互いに「互近助(ごきんじょ)」の精神で活動を進めようと提起されました。

最後に、災害復旧支援活動は1人の力ではどうにもならない。グループでの活動の勧めと、生命と財産を守るためにこくみん共済coopの「住まいる共済」への加入、被災後の生活再建に向けてろうきん「災害救援ローン」の活用を推奨されました。

講演Ⅱ「賀川豊彦と連帯社会 ～分断を乗り越える」【法政大学大学院公共政策研究科 賀川豊彦学校長 伊丹 謙太郎 教授】

友愛・互助・平和を求めて闘ってきた賀川豊彦の生涯は、大衆の生活に即した新しい政治運動、社会運動、組合運動、農民運動、協同組合運動に注力してきた。さらに、社会的弱者の救済活動や教育普及活動の推進、ボランティア活動の先駆者となるなど、現在のあらゆる分野に影響を与えてきた活動の軌跡について紹介がされました。そして、賀川豊彦思想と実践は、SDGsとの関連でも注目されており、「誰一人取り残さない」賀川の強い思いと行動力に、今こそ学ぶべきと結ばれました。

翌日、鳴門市の「賀川豊彦記念館」に移動して、DVD「昭和偉人伝 21世紀の日本をグランドデザインした男 賀川豊彦」を視聴すると共に藤田進事務局長から、賀川豊彦の幼少期から学生時代を通して、生涯にわたる弱者救済や平和運動の原点となるエピソードとボランティア活動や「助け合いの組織」としての生協の土台を築いたことなどの説明を受けました。

各講演と記念館見学で参加者は大変勉強になり、地域等において今後の活動の広がりを進めて行くことの契機になったことと思われまます。



労働セミナー講師派遣しています! 『働くときに知っちょきたいこと』



当協議会では、働くうえで知っておくべき最低限のフールール、労働者として知って欲しい労働の基本ルールを身に付けていただける内容として「働く人のためのハンドブック」を作成し、毎年、各高等学校に提供するとともにハンドブックをテキストとして、高校や大学、専門学校等で「労働セミナー」を開催しています。

労働セミナーは、「社会人としてのマナー」「労働契約」「就業規則」「労働時間」「休日」「賃金」や「各種保険」など、身に付けておきたい知識の修得を目的に実施していますので、学生のみならず会社等の新人研修にも役立ちます。セミナー実施費用および資料提供を無料としていますので、ご希望の学校や団体等お申込みをお待ちしています。

(お問合せ先)

◇一般社団法人高知県労働者福祉協議会

高知市本町4丁目1-32 こうち勤労センタービル5階 TEL 088-824-3583 FAX 088-875-4887



学校名(団体名)			
住 所			
T E L		F A X	
ご 担 当 者		受 講 者 数	
実施希望日		実 施 時 間	

※労働セミナーの内容に関するご希望などについては、事前に打ち合わせをさせていただきます。

2023年度高知県労福協研修会



テーマ

25災害の支援活動から 伝える現場力

2024年1月20日(土)14時～(受付:13時半～)
高知会館3階「飛鳥」

講師:さんすい防災研究所
代表 やまさき みきお 山崎 水紀夫 氏



山崎 水紀夫 氏

元高知県庁職員。1998年高知豪雨のボランティアセンター代表。東日本大震災時には震災1週間後から岩手県大槌町での支援活動など24災害での被災地支援を行う。避難所運営・避難行動・地域防災などの防災全般に加え、地域活動アドバイザーなど年間100本程度の講演・研修を行っている。防災サークル顧問として、平成26年度ぼうさい甲子園にてぼうさい大賞、平成27年度消防庁長官賞(防災まちづくり大賞)など3年連続で全国表彰を受けた。

定員

60名

参加費無料

申込期日

2024.1.19まで

避難訓練は
大事だよね!

備えは
大丈夫
かなあ?



(一社)高知県労働者福祉協議会

TEL:088-824-3583 FAX:088-875-4887

MAIL:kochirf@shirt.ocn.ne.jp <https://roufuku.com/>

参加申し込みは電話もしくは
Googleフォームまで↓↓↓

